

マルクス・レーニン主義をわがものとせよ!

アフガニスタン革命をはじめとする世界革命過程の前進に連帯せよ

■アフガニスタン革命の勝利的前進への連帯の革命的軍事支援行動

昨年12月、アフガニスタンにおいて、国内外の反革命的陰謀をくりぞけカルマル革命政権が樹立された。このとき、ソ連は、ソ連アフガニスタン友好善隣協力条約に基づき、機敏かつ果敢な軍事援助によってカルマル政権を支援した。

78年4月、アフガン人民は、地主階級やケルゾアジの権力を打倒し、帝国主義のくびきから脱し、民族民主革命に勝利した。これに対し、アメリカを中心とする帝国主義勢力は、中国をまきこんで、旧地主層を中心とする反革命勢力に武器、資金、武装訓練などを施し、革命に対する破壊活動も指導し、投入してきた。

今、アフガン人民の4月革命の成果は、カルマル政権樹立とソ連の革命的軍事支援によって、反革命勢力の叛動を粉砕し、一段と発展した段階にある。ソ連の軍事支援行動は、「侵略」でも「主権の侵害」でもなく、アフガン革命と、帝国主義の干渉、介入、侵略から自由し、アフガン人民の革命を推進するための兄弟的な支援に他ならない。今日のアジア、アフリカ、中南米などの民族解放勢力にと

って、帝国主義の反革命的干渉を粉砕することは、勝利のため不可欠である。それ故、ソ連をはじめとする社会主義諸国が革命勢力に連帯し、あらゆる支援をおくることは、極めて重要な意義をもつ。このような、支援と連帯こそが、プロレタリア国際主義を現実のものとするのである。

■世界革命過程の前進と帝国主義諸国の危機

今日、アフガニスタンやイランでの革命をはじめとして、ラテンアメリカ、アフリカ、アジア等世界各地で反帝民族解放の闘争が高揚している。アフガニスタン革命の勝利は、世界革命過程のさらなる前進をもたらすし、社会主義勢力が帝国主義勢力に対して優位な力を持っていることをはっきりと示した。

このような世界革命過程の前進に対して、帝国主義勢力は必死で、まき返しをはかろうとしている。アメリカ

研究会論唯物的証法的大

